

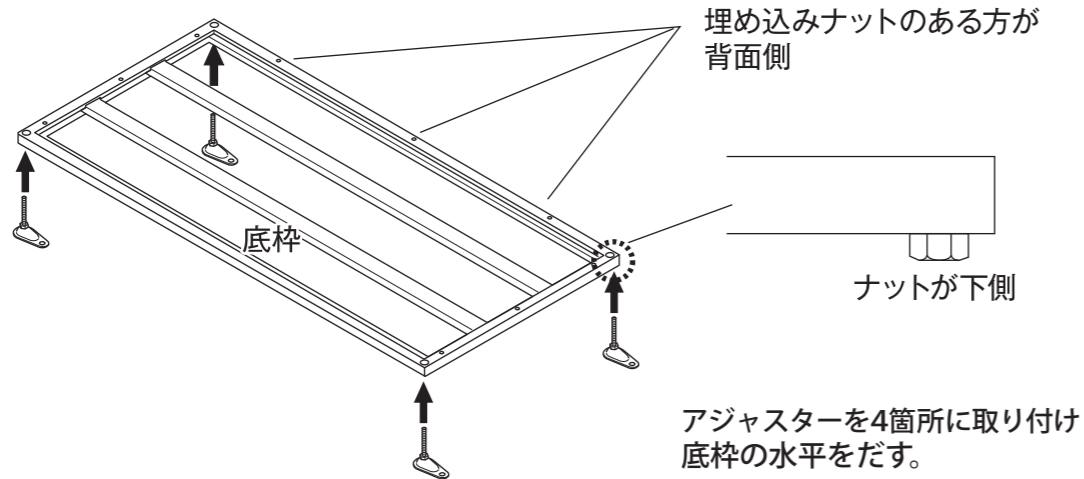
ステンレスダストボックス 組立説明書

組立ての前に
必ずお読みください

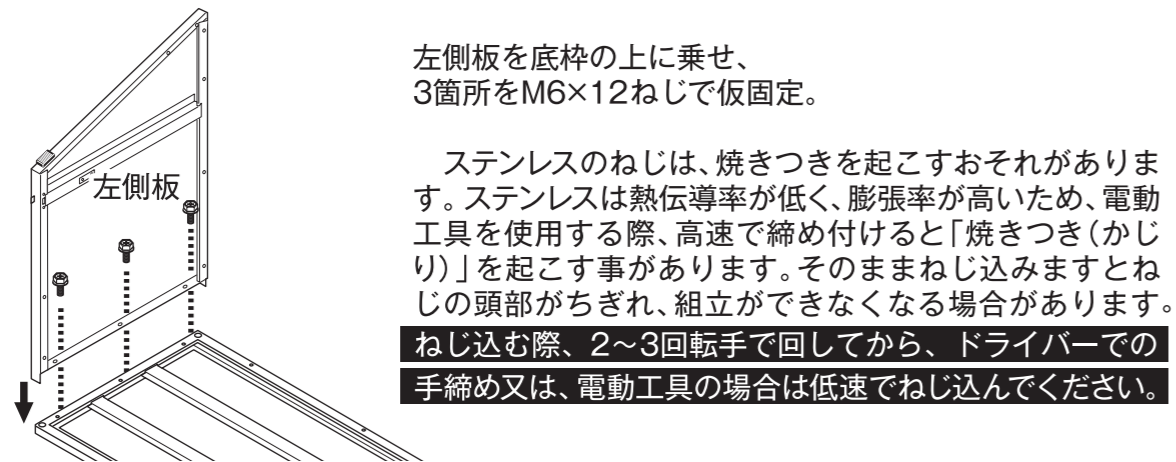
- 必ず手袋を着用してください。
- ⊕ドライバーをご用意ください。
- 広く平らな場所で組み立ててください。



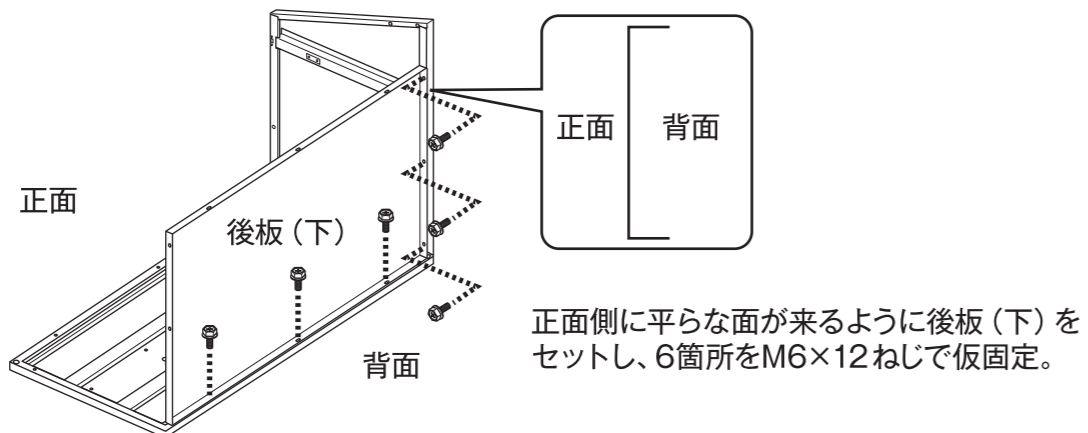
1



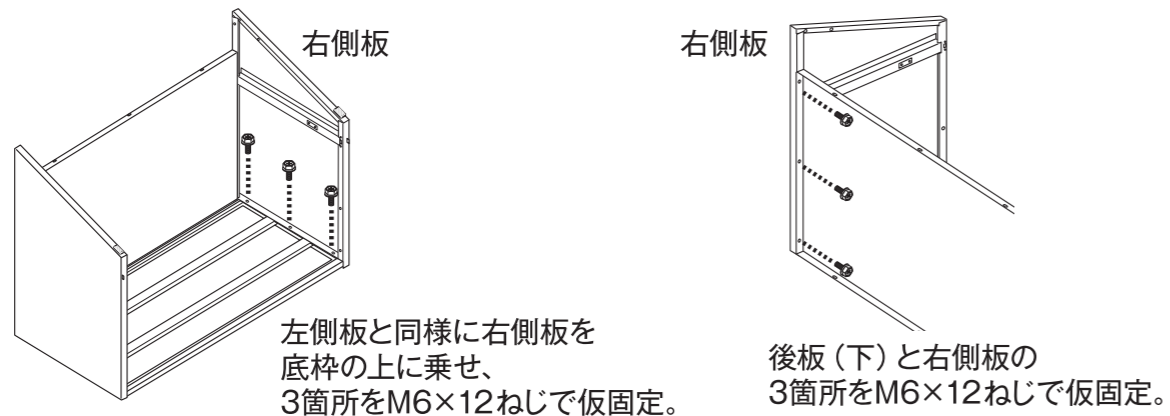
2



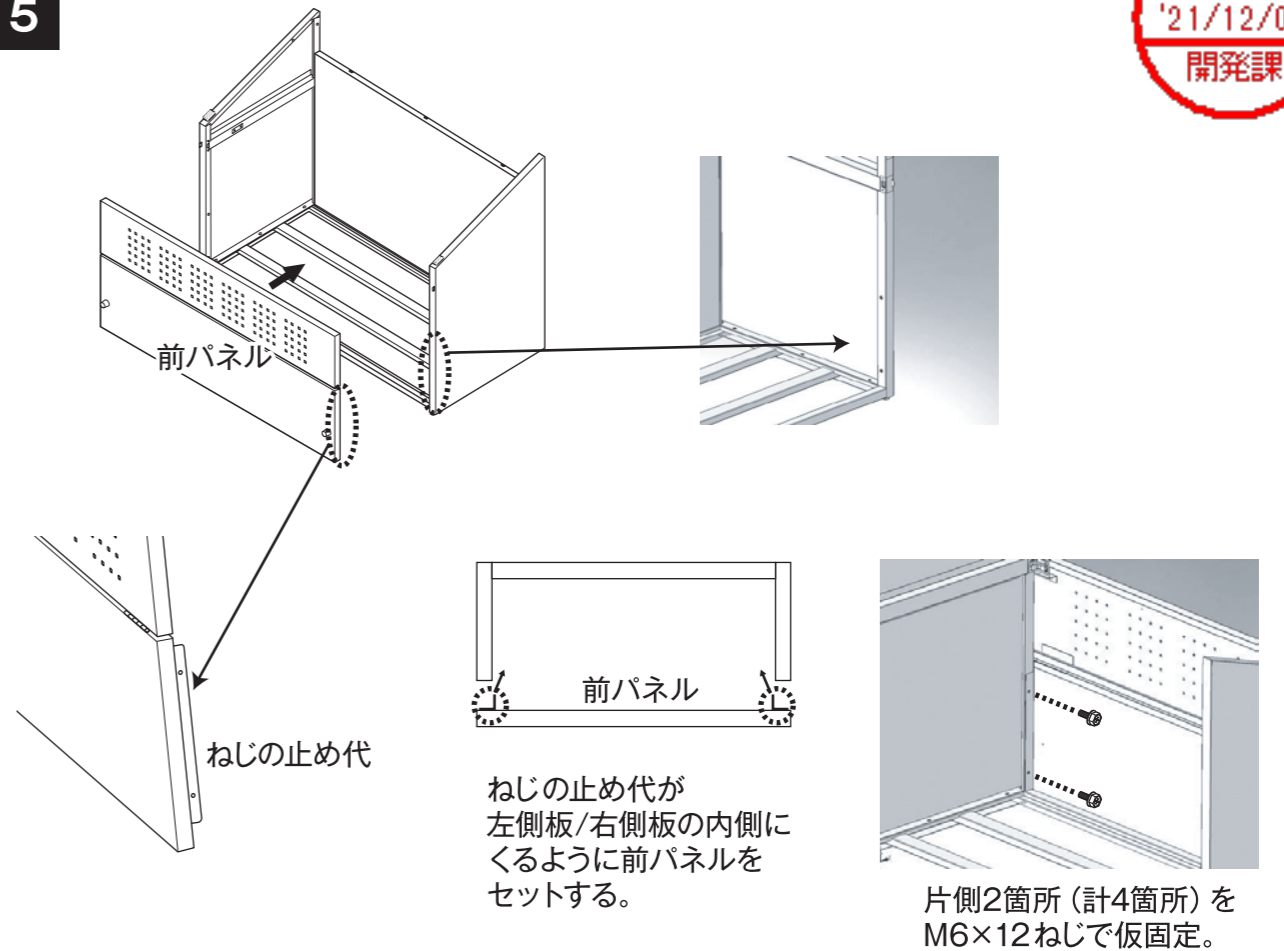
3



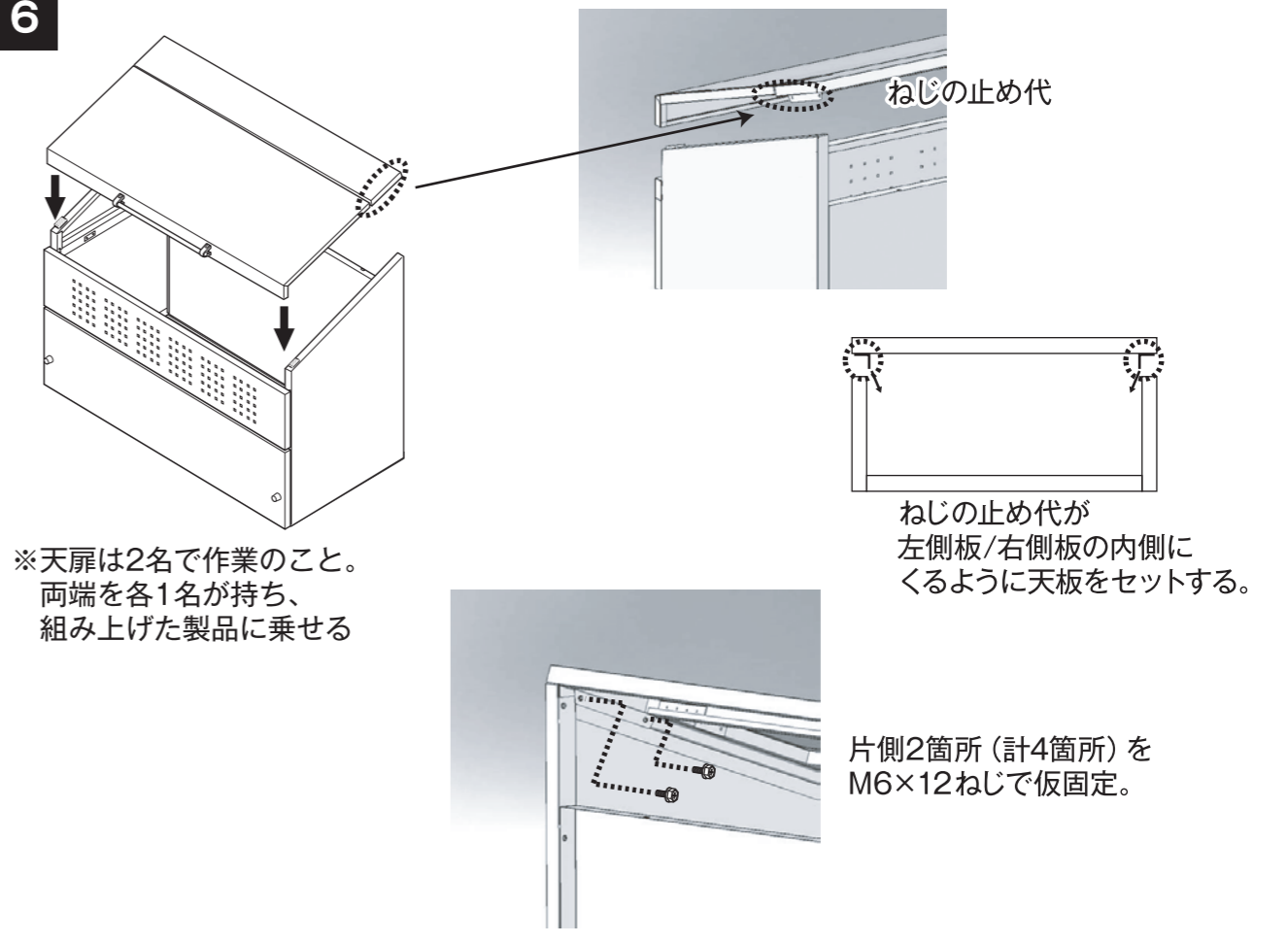
4



5

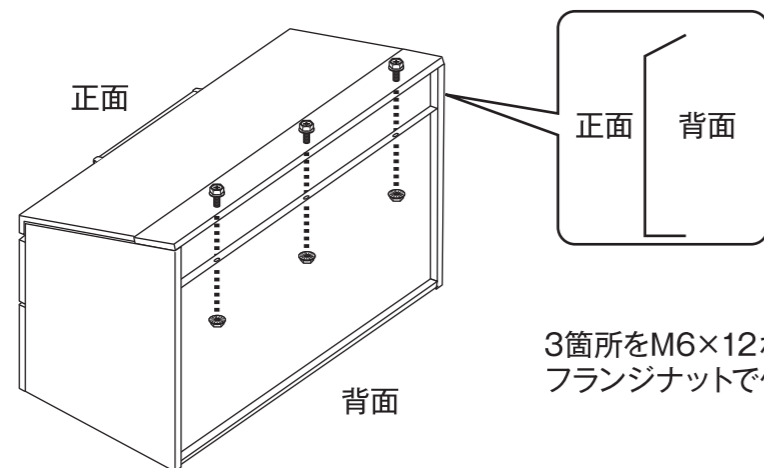


6



外山工業
'21/12/08
開発課

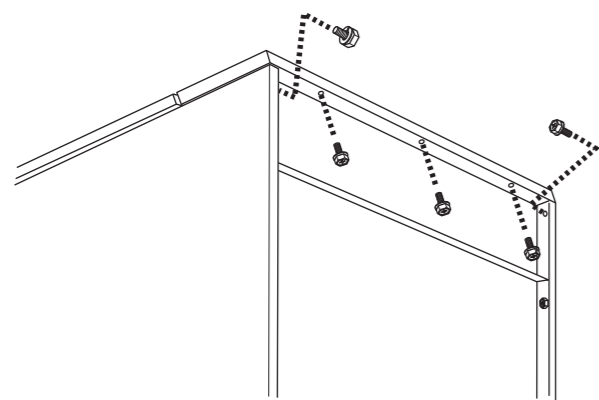
7



後板(上)を向きに
注意しセットする。

3箇所をM6×12ねじと
フランジナットで仮固定。

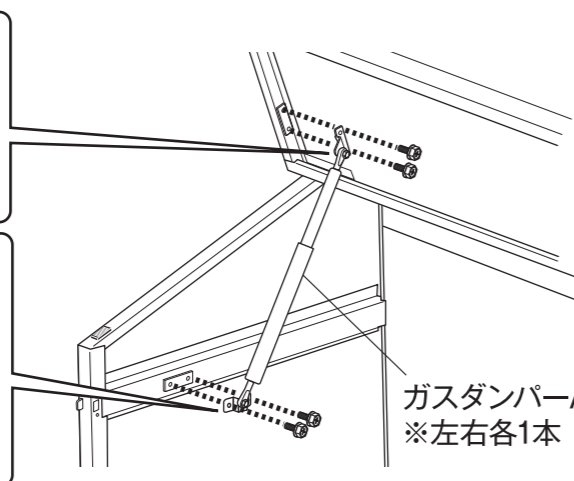
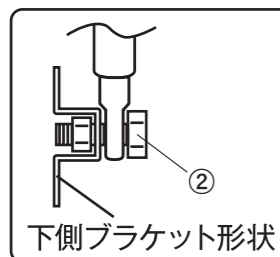
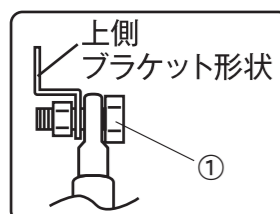
8



後板(上)の上面3箇所と
両端2箇所を
M6×12ねじで仮固定。(計5箇所)

ここまで仮固定していたねじを、全体のバランスをみて本締めし、固定する。

9



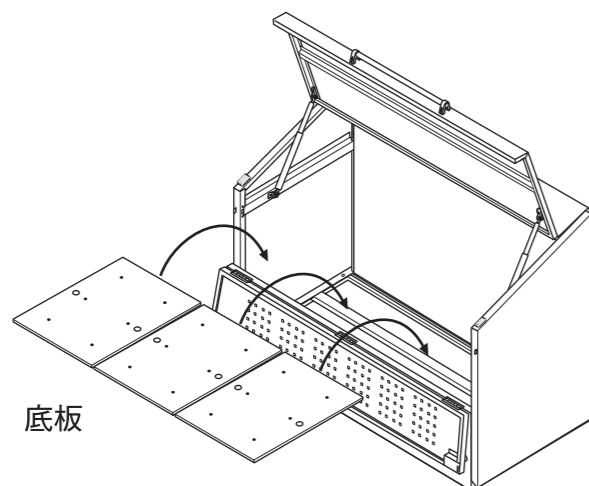
片側2箇所(計4箇所)を
M6×12ねじで**全て手で**
回して仮固定後、本締め
して固定する。
その際、天扉を支えて
ねじに重さが掛からない
よう注意する。

※ この時、ねじ①・②が
しっかり締まっているか
確認のこと

ガスダンパーASSY
※左右各1本

反対側も同様に取り付ける。

10



底板を底枠の上に乗せる。

警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 法令・規約を守り設置してください。

⚠ 危険物・薬品・生き物を入れないでください。

注意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。物的損害とは、家具・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

組立・設置時

1. 組み立て時は、必ず軍手等手袋を着用して作業してください。
2. 必ず2人以上で作業を行ってください。
3. 広い平らな場所で組み立て、本体を水平保持設置してください。
開閉の不具合や転倒やけがのおそれがあります。
また部品の立てかけは、転倒・破損の危険がありますのでご注意ください。
4. 各パネルは保護膜で覆われています。使用前にはがして組み立ててください。
5. ねじ止めをしっかり行ってください。振動などで倒れてけがをすることがあります。
6. 強風・地震などに備え、転倒防止に十分配慮してください。
アジャスターボルトにはアンカーピン(アンカーボルト)用の穴があります。
アンカーピン(アンカーボルト)等を用いて本体を固定し、使用してください。
7. 火気のそばに設置しないでください。中のごみが燃えるおそれがあります。
8. 屋根からの雨水により、さびが付着する事がありますので、建物の近くに設置する場合は設置場所にご注意ください。



使用時

1. 用途以外の使用をしないでください。
2. 生ごみなどの汚水は特にさびの原因になりますので、ごみ袋が破れないように注意してください。
3. 天扉を開ける際は、パチン錠のフックが外れていることを確認してください。外れていない場合、破損のおそれがあります。
4. 取っ手へぶらさがらないでください。
5. 天扉の開閉は取っ手を持って行ってください。
6. 天扉・前パネルの開閉は静かに行ってください。
7. 使用時以外の無意味な開閉は行わないでください。
8. 天扉に物を載せないでください。降雪地帯での設置の場合は、降雪時天扉に雪が積もらないように除雪を行ってください。
9. 幼児が遊ばないように注意してください。
10. 本体に上がったり、足をかけたり、もたれたりしないでください。
11. 本体はステンレス鋼板製です。角部・端面などにご注意ください。
12. 変形・破損したまま使用しないでください。けがをすることがあります。
13. 炎天下時、設置場所によっては本体が非常に熱くなります。やけどに注意してください。

ごみ投入時

1. ガスダンパーにごみをぶつけないでください。
2. ごみを投げつけたり、落下させないでください。
3. ビニールなどがガスダンパーにからまないようにしてください。

メンテナンス・清掃時

1. 清掃時は、必ず軍手等手袋を着用して作業してください。
2. ごみ収集ごとに内部・外部の水洗いをされることをおすすめします。
(汚水・汚れなどによるさびの発生を防ぐ)
3. 洗浄後はやわらかい乾いた布で、水分をよく拭きとってください。
4. 汚れがひどい場合は、うすめた中性洗剤で拭き取り、洗剤が残らないように水拭きした後、から拭きしてください。
5. 溶剤(シンナー・ベンジン)などは使用しないでください。
6. ガスダンパーは消耗品です。ガスダンパーの反力が低下してきた場合は、有償で交換いたします。

ステンレスを美しく保つためには

表面に付着した生ごみなどの汚れや、ほこり、すす、ちり、鉄粉などはさびの原因になりますので、放置せず早めに除去してください。放置しますと、ステンレスの防錆性能が妨げられます。使用状況によってはもらいさびなどが発生する場合があります。万が一もらいさびなどが発生した場合は、さび取りシート(推奨品ピカ素 SUS300N)を有償でご提供いたします。